

住民WS「これからの公共施設について一緒に考えよう」 まとめ

開催日時 令和4年6月25日(土) 午前10時～12時
西公民館 大会議室 参加者 16名

豊能町まちづくり創造課



1. 公共施設再編検討委員会 進捗状況報告 川村副町長

2. ワークショップ（3班に分かれて実施）

【進め方】

- ・公共施設再編検討委員会の進捗状況報告を参考に問題意識を共有し、意見交換を行うことで、実効性の高い検討につなげていく。
- ・各施設の本来の機能だけでなく、地域のニーズにも気を配り、地域性を踏まえた施設のあり方を検討する。
- ・地域課題の意見交換など施設再編に向けた意見出しを行う。
- ・まちづくりについて意見交換を行い、その発想を施設再編にはめてみる。

【発表内容】

- A班 ・まちづくりについては、教育（子ども）・交通（駐車場）・コミュニティに関係する意見が多数出ていた。（参考資料 参照）
- ・施設再編に向けては、利用料金の見直しと駐車場問題の解決を踏まえたうえで誰でも使える多世代利用型コミュニティセンター化希望
- B班 ・まちづくりについては、教育（子ども）・交通（駐車場）・雇用・コミュニティ・関係人口に関係する意見が多数出ていた。（参考資料 参照）
- ・施設再編に向けては、情報交流と多世代が交流できる場・コミュニティセンターなるものが必要
- C班 ・まちづくりについては、教育（子ども）・交通・デジタル化・雇用・コミュニティに関係する意見が多数出ていた。（参考資料 参照）
- ・施設再編に向けては、人が集まる場所・子どもも老人も一緒に過ごせる場づくり

6月25日開催WS「これからの公共施設について一緒に考えよう」

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映してみました

1-1 まちの未来につながる教育の推進

教育、幼児教育、高校、大学、生涯教育のための施設利用。

西公民館の音響設備を整えてほしい。

何かに特化した学習機関を作るために施設を利用してもいいのではないか。

老人用ではなく誰もが使用、一緒に使えるようにできないか。

廃校利用、面白い教育を選べるまち。

教育移住へ。町内に高校を作る。施設再編で大学を作る。

学びに経済差なく選べるように。

不登校の子ども親が家から出られない。親の支援、自由な時間を得られるサービス・機能が必要。

アレルギーや発達凸凹のある子どもも安心なイベント。

大人も子どもも学べる場。 子どもたちの発表の場。

新しい価値観に大人がアップデートすることが今の子どものために必要。(大人の学びの場)

図書館は広域化して充実を。

立地的に学校校区を他行政区からも通える法律の変更。(森町から豊能町へ)

老人といっても多種多様な状況があり各ニーズを考えた場づくりを。

教育レベルの高さによる子育て世代の流入を図る。

高校生・大学生が豊能町内で活動できる場所がない。(町内に学校がないので)

楽しみがもてる所。(子供たち、老人カラオケ、囲碁)

教育レベルの高さによる子育て世代の流入を図る。

高校生・大学生が豊能町内で活動できる場所がない。町内に学校がないので。

入場料を払っても行きたいイベントを開催する。

1-2 いつまでも健康でみんなが活躍するまち

働く世帯に魅力あるまち。

介護施設と子どもの集まる場所を併設できないか。

公立学校以外に通うフリースクール、オルタナティブスクール。

多様な学びができる、大人も学べる、子どもも学べる学校。

先生1人の負担が大きいと子ども1人ひとりに合わせきれない。スモールスクール、大きな箱や多いスタッフは必要ない。

高齢者が集えるコミュニティセンターなるもの。

老人といっても多種多様な状況があり各ニーズを考えた場づくりを。

障害者の方も社会活動できる、協力してほしいことがわかる情報交換の場。(ボランティア募集)

元気な老人が行けるところ。

スポーツも誰でも参加しやすい所がほしい。

不登校の子ども親が家から出られない。親の支援、自由な時間を得られるサービス・機能が必要。

小人数で個々に合わせた学びができるスモールスクール。

6月25日開催WS「これからの公共施設について一緒に考えよう」

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映してみました

1-3 安心して子どもが産める環境づくり

子どもにやさしい町。雨天でも遊び場として開放する。
子どもたちが安全でのびやかに健康に育ちあえるまちにする。
子育て世代が住みよい町を目指す。
今ある施設をキッズひろばに変更。
豊寿荘は子どもたちの憩いの場に変更。
子育て世代の転入を進める町の施策。
子育て世代の流入促進、転入メリットの明示、PR。
子育て世代の転入を進める町の施策。
子どもへの助成金。
明石市や北海道の子育て世代の増加している自治体に学ぶ。

1-4 まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進

公園やシートス前広場などでキッチンカーやカフェ。
ふれあい広場はキッズ公園に。
人口減を食い止める、人口を増やす方策。
人口を増やす対策として空き家管理を町の施策として進める。
家を借りたい人が多いのに物件がない。町が仕切って空家問題を解決する。
空き家対策。(防犯、環境問題)
人口増のための空き家の利用。
豊能町に住んでいるけど大阪市内や他県へ仕事に行っている人が多いので地元のことを知らない人が多い。地元に関心を向ける。
公民に関わらず協力し合える制度づくり。

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映してみました

2-1 まちで働く人を応援

温泉があればいい。

2-2 人や仕事を呼び込むテレワークの推進

営利で習い事教室ができるようになってほしい。

新たなサービスが生まれる時に人材も必要で雇用が生まれる。

コロナで地方の暮らしに注目があつまっているのいろいろな場で働けるよう、コワーキングスペース。

新たなサービスが生まれる時に人材も必要で雇用も生まれる。

手仕事やクリエイティブの発表の場、作業の場、買える場の一元化。

ITビジネスの育成、モデルケース。

テレワークに適している豊能をアピール。

仕事ができる場所。(IT関係)

有料でのレンタルスペース、在宅ワークやミーティングができる場所がほしい。

仕事のマッチングできる場所、豊能版ハローワーク、子どもからお年寄りまで利用できる。

企業誘致、来たい法人は多いが広い用地不足。

ITビジネスの育成、モデルケース。

テレワークに適している豊能をアピール。

仕事できる場所(IT関係)。

有料でのレンタルスペース、在宅ワークやミーティングができる場所がほしい。

仕事のマッチングできる場所、豊能町版ハローワーク、子どもからお年寄りまで利用できる。

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映してみました

2-3 地域経済を循環させる

誰もが使えて作ったものを販売できるキッチン。

町で自給自足を。多様な仕事で外に働きに行かなくても良いように。

他地域の人がお金を落としてくれる仕組み。キャンプ場、飲食店、アスレチック、フラワー園。

町で自給自足を。多様な仕事で外に働きに行かなくてもよいように。

東地区のまちづくりには「トヨノステーション」的なものが絶対必要。

町の収入を増やす事業・取り組みをする。

観光事業(右近等)を他市町と連携し多くの人を引き込む。

食事を楽しむところが少ない。(お茶を飲むところも)

道の駅のような物を作り、人が集まる場所を。

キャンプ場の整理、環境を整えて観光等の目玉を作る。

町の収入を増やす事業、取り組みをする。

東は自然の豊かさ、西は利便性を活かしたまちづくり(関係人口を増やせたら移住)。

2-4 地域産業を元気にする6次産業化

学校給食に地産地消の無農薬の食材を提供する。

東の農を西地区も一体で育てていく。

町外からも来たいまちにする。ここでしか買えないもの。

とよのの特産品が買える、とよのの人と交流できる、道の駅のような場所。

林業再生。

農業問題:法人化による大規模。給食等地産地消にすべき。

町の資源を売る。

6月25日開催WS「これからの公共施設について一緒に考えよう」

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映しました

3-1 住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり

交通手段。

歩いて行ける距離に設置が難しければコミュニティバス。

施設に通うための足を考えに入れたものを。

駐車場問題→のりあいバスのようなイベント用のバス。

豊能町は安心な町を目指して考えていきたい。

防災との関係も考えた安心。

豊能町は安心な町を目指して考えていきたい。

防災との関係も考えた安心。

知らないを減らす。

ケーブルTVとか町民だれでも見れて情報が分かって発信できる拠点があつたらいいなと思う。

デジタル・インフラの確立。

ポイントで全員に権利を与える。

各戸をネットワークでつなぐ。

ホーム端末を開発。

東西をデジタルでつなぐ。

ポイントは複合化、世代間ギャップを埋める。

車がないと生活しにくいので地代内にバスが必要では。

3-2 人が活躍できる地域コミュニティづくり

公民館でできないマーケットが出来るようにコミュニティセンター化希望。

赤ちゃんからお年寄りまで気兼ねなく利用できる施設設置。

町民の楽しみを開催できる場所がほしい。

多世代が交流できる場。

子育てで孤独、一人暮らしで孤独、一緒に食事したりできるとか得意を教え合う。

文化的な活動・発表の場が限られているので自由に活動、発表できるコミュニティセンター。

高齢者、女性中心の自治体サポート、NPO→統合化。

個人でも公共施設を気軽に使えたり掲示板に情報を貼ったりきまりをゆるくしてほしい。

子どもも老人も一緒に過ごせる場所作り、飲食もできる。

高齢者、女性中心の自治体サポート、NPO統合化。

同じような団体を集約する。

イベント開催時にいつも駐車場が足りない。

6月25日開催WS「これからの公共施設について一緒に考えよう」

WSで出た意見を「総合まちづくり計画」の基本施策へ反映しました

3-3 低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり

自然環境とマッチしたものに。

3-4 交流人口の増加で新たな風土づくり

町外からも来たいまちにする。

ここでしか見れないもの。

学校の跡地を活用して泊まれる施設。

町外からも情報が受け取れる。

お試し居住 → 移住。

どうしたら町に税収入以外の観光や住民移住企業を増やせるか。

その他の意見

【施設再編について】

総バナ的な公共施設から若者に魅力ある施設を
施設の廃止よりも継続で修理・補修して使うこと
公共施設をフル活用するような対策、お知らせを考える
豊能町の魅力だと語れる施設をつくってください
公共施設はやはりコンパクトにしたものに(町の魅力として)
施設として活用できていないところが多い。まとめるのも当然
実際に利用している方々の意見、思いの吸い上げがされていない(利用時の値上げに関する意見など)
多種多様な内容を受け入れるための施設資料を集め応用できる型を考えたい
施設の目的、年齢を問わずやりたい事ができる場所であってほしい。大人数で集まれる場所
上物の統廃合とともに発生するインフラ整備の基本的な考えを町は責任持って示す事
民間、NPOなどの団体に入ってもらい町(ユーベルホールだけではなく)豊能町としてほこれるもの
公共施設の管理を安易に地元自治会の参加や協力を求めるべきでない。自治会も疲弊している。
役場を西地区へ移転も考えれば

【ユーベル】

ユーベルホールを多くの人に安く活用
ユーベルホールだけではなくが豊能町としてほこれるもの
ユーベルは夢を売る場所だが今はその役割はない。廃止の方向
維持管理が大変と言っているがユーベルは本当に住民の希望どおりに利用が許されているのか
文化を守るという観点から能勢町の浄瑠璃シアターを共同運営

【東地区】

東地区のことは東地区の住民の意見を聞いて取り組んでほしい
東地区の活性化(ダイオキシンの保管、崩落跡地の整備の遅れ、東地区の住民は被害者意識に)
東地区の中央公民館、郷土資料館、診療所は東能勢小学校に再編

【駐車場問題】

車社会のストレスを無くすために駐車場の整備
公共駐車場(有料でもよい)

【利用料金】

費用について町外の人にはそれなりの料金をいただく
利用料もそれなりに入場料を求める。
平日ががら空きのところは平日料金
費用(利用料)について、町外の人にはやはりそれなりの料金をいただく

【保健センター・豊寿荘】

保健センター、豊寿荘に行くことがまずない

【シートス】

シートスは今の状態であれば廃止。利用者1人あたり25,000円の税金を投入する
必要があるのか
大型のシートスは廃止。他市町との連携、完全民間委託すべき

【ふれあい広場】

ふれあい広場は現利用者の利便や意見を見無視した利用変更はしない
広い公園、駐車場、トイレ

【その他】

町の魅力を訴えて国の補助金、府の補助金を使って施設の補強や新設を進める
他市町(川西市や能勢町)との連携化
先手先手の行政の可能性。
まちづくりは効率よく二元化、東西をひとつにこれが大切
施設の増加を考えないというのが、従前から課題である火葬場や斎場はどうするのかは不明
町が東西に分かれていることについての補助金を強く国・府に求める(これは公共施設再編
検討委員会でも意見としてでていたはず)